

2022年3月期 第1四半期連結決算の概要

[2021年度]

2021年7月30日

株式会社日立製作所
執行役専務 CFO

河村 芳彦

Contents

1. 今回のポイント
2. 2021年度 第1四半期 実績
3. 2021年度 見通し
4. 参考資料

1. 今回のポイント

1

事業・コスト等の構造改革の成果により、業績は堅調に推移

- ・ 5セクター^{*1}、Astemo、上場子会社ともに前年同期比で増収増益
- ・ 低収益事業の見直しやコスト構造改革の成果を実現
- ・ ITセグメントは引き続き堅調で過去最高の調整後営業利益^{*2}、利益率(9.8%)を達成
- ・ 中国のビルシステム事業、欧州の鉄道事業、北米のインダストリー事業などが伸長し、海外売上収益(14,598億円)、海外売上比率(62%)ともに過去最高を達成

2

パンデミックの影響が回復しつつある地域を中心に受注は堅調

- ・ 市況の回復を受け、北米、欧州、中国を中心に前年同期を上回る受注を確保
- ・ 脱炭素の流れを受けた日立ABBパワーグリッド事業の受注状況が良好
(1Q受注高：2.7bn米ドル、受注残高：約12bn米ドル)

3

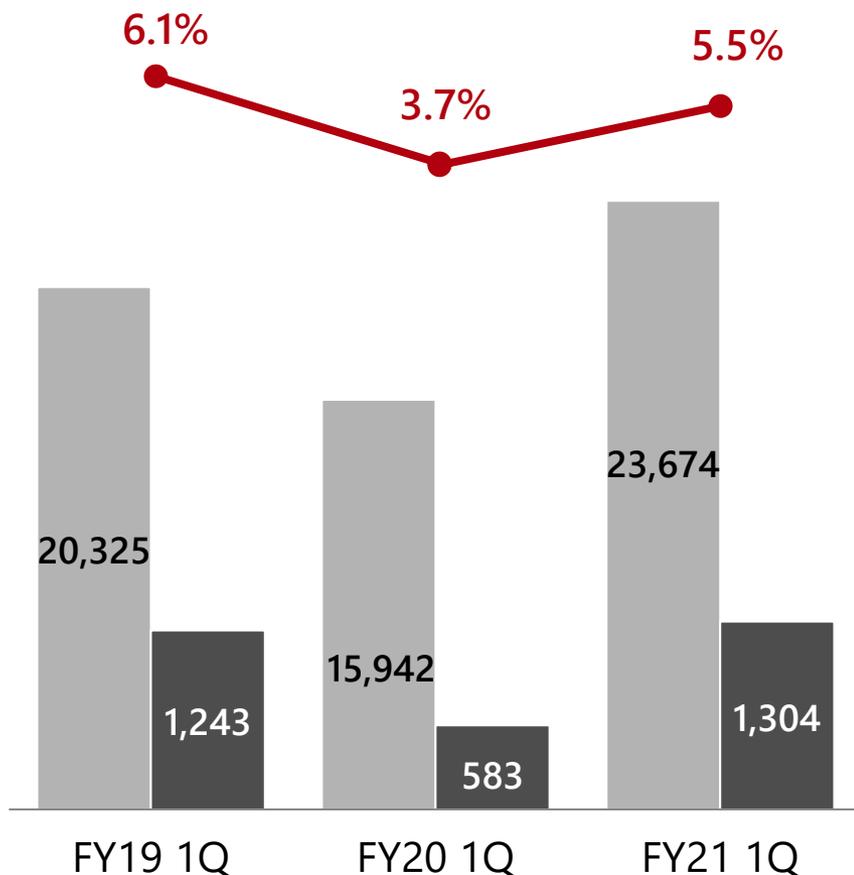
成長に向けた事業ポートフォリオ改革が進行中

- ・ アルチエリクとの海外白物家電事業の合併会社設立完了
(持分比率：アルチエリク 60%、日立グローバルライフソリューションズ 40%)
- ・ GlobalLogic社の買収完了、買収完了前の1Qの売上収益・利益は堅調

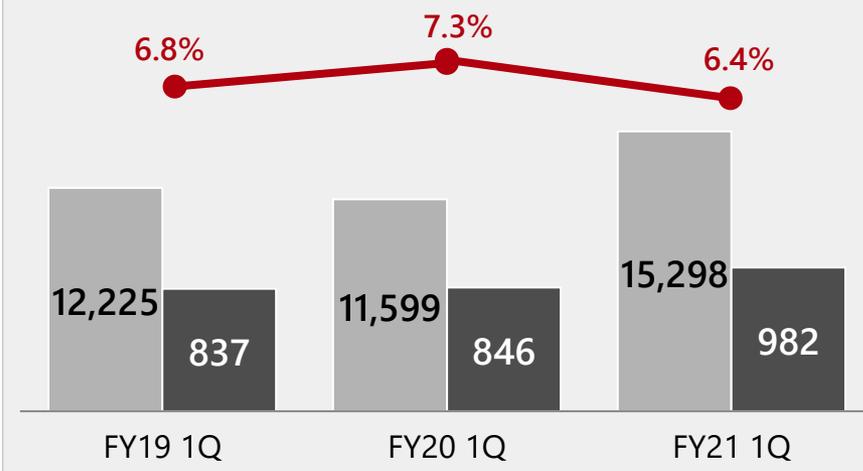
連結合計：FY19 1Q (COVID-19影響発生前)比で増収増益

単位：億円

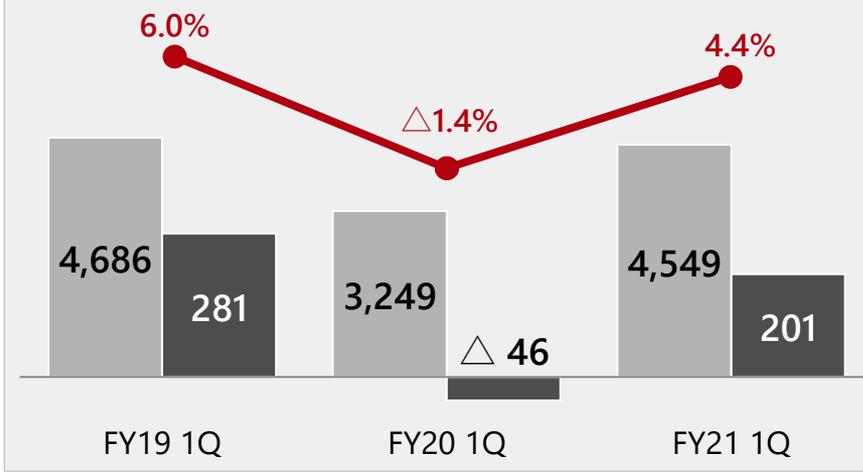
■ 売上収益 ■ 調整後営業利益 ● 調整後営業利益率



5セクター：市況の回復、パワーグリッド事業買収影響により増収増益



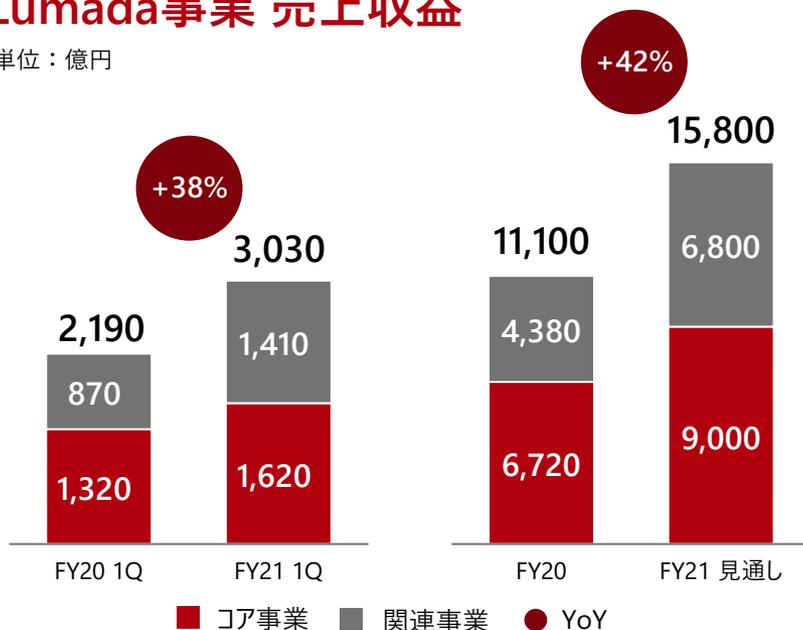
上場子会社⁽¹⁾：市況の回復により日立建機・日立金属ともに増収増益



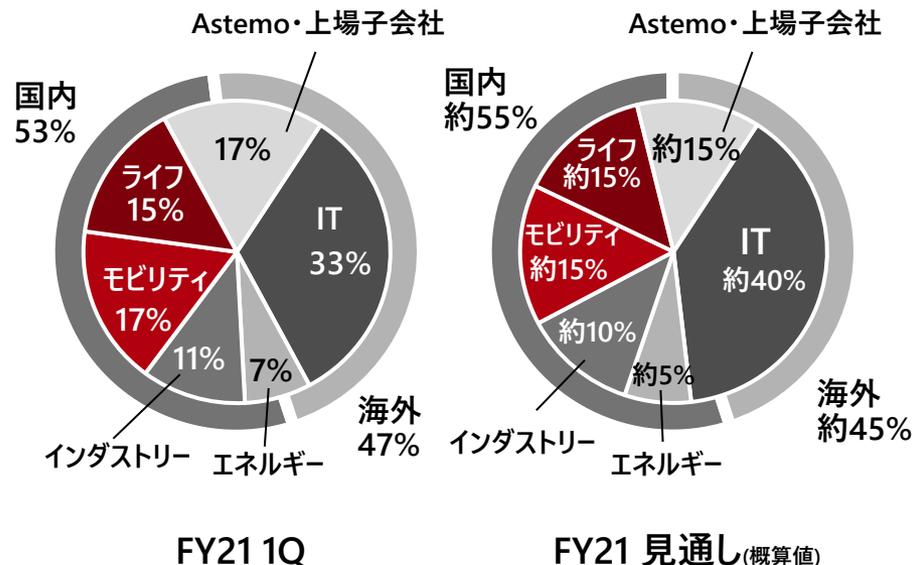
(1)上場子会社のFY19 1Qの実績には日立化成の業績は含まれていません

Lumada事業 売上収益

単位：億円



セグメント別 構成比



トピックス

IT：タイ王国発電公社の電力需給バランス最適化に向けたデマンドレスポンス実証プロジェクトのシステムベンダーに決定
タイのスマートグリッド構築を支援し、効率的な再生可能エネルギーの導入促進や、温室効果ガス排出削減に貢献

インダストリー：サントリー新工場「サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場」と次世代工場モデルをめざす協創を実施
工場内データの統合・利活用で、高度なトレーサビリティと工場経営・働き方のDXを実現するIoT基盤を構築、活用開始

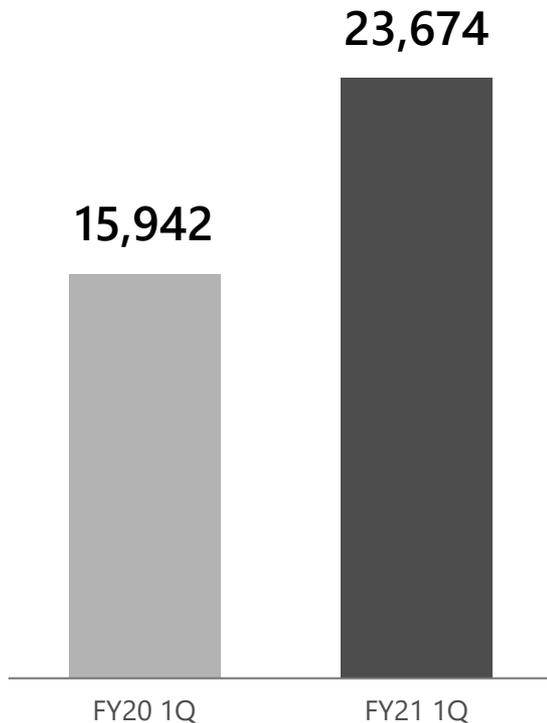
日立ハイテク：半導体エンジニアリングの米国新拠点、「Hitachi Center of Excellence in Portland」を設立予定
米国開発拠点を集約し、半導体製造における開発期間の短縮、生産性・歩留まり向上に向けたソリューション展開を加速



2. 2021年度 第1四半期 実績

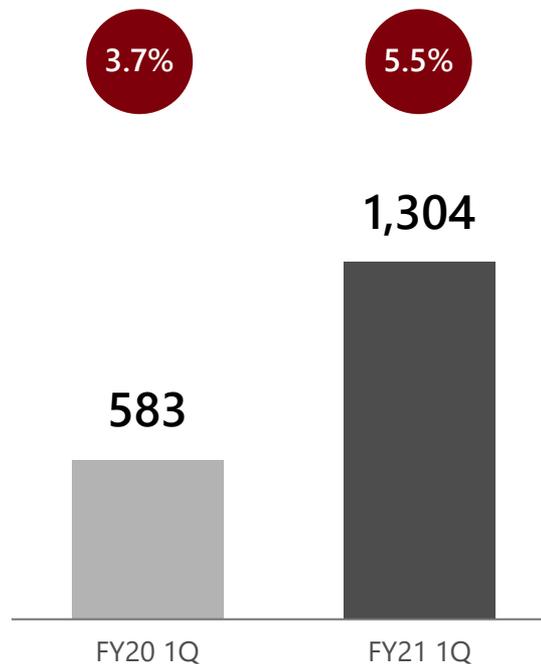
売上収益 YoY 48%増収

市況回復、パワーグリッド事業買収・日立
Astemo統合影響により増収



調整後営業利益 YoY 利益率 +1.8ポイント

売上収益の増加に伴い増益



● 調整後営業利益率 単位：億円

海外売上収益 14,598億円 (YoY +88%)

Lumada事業売上収益 3,030億円 (YoY +38%)

EBIT*3 1,686億円 (YoY △1,717億円)

四半期利益 (親会社株主帰属) 1,222億円 (YoY △1,010億円)

EBITDA*4 3,000億円 (YoY △1,391億円)

営業キャッシュ・フロー 1,370億円 (YoY △167億円)

5セクター・Astemo・上場子会社別 実績 (FY21 1Q)

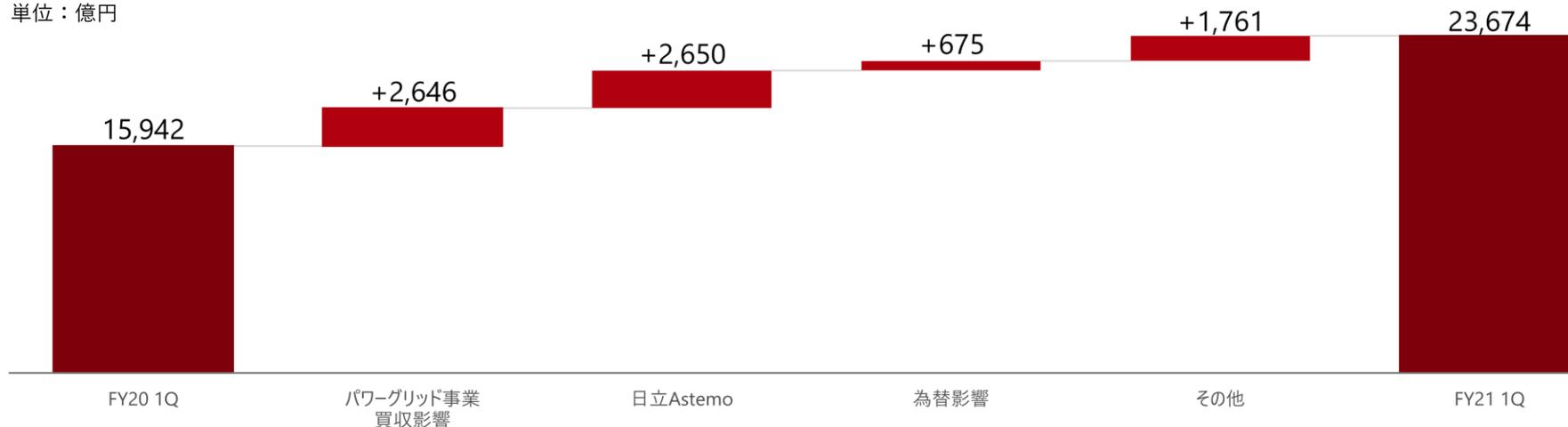
- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業買収影響により増収増益
- Astemo：市況回復、日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

単位：億円	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ*5]	Astemo [オートモティブシステム*5,6]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
売上収益	15,298	3,825	4,549	23,674
YoY	132%	350%	140%	148%
調整後営業利益	982	121	201	1,304
YoY	+136	+337	+247	+721
調整後営業利益率	6.4%	3.2%	4.4%	5.5%
YoY	△0.9ポイント	+23.0ポイント	+5.8ポイント	+1.8ポイント
EBIT	1,388	128	170	1,686
YoY	△2,338	+407	+212	△1,717
EBIT率	9.1%	3.3%	3.7%	7.1%
YoY	△23.0ポイント	+28.9ポイント	+5.0ポイント	△14.3ポイント
四半期利益(親会社株主帰属)	1,142	28	51	1,222
YoY	△1,354	+275	+69	△1,010

売上収益・調整後営業利益 増減内訳 (FY21 1Q 連結合計)

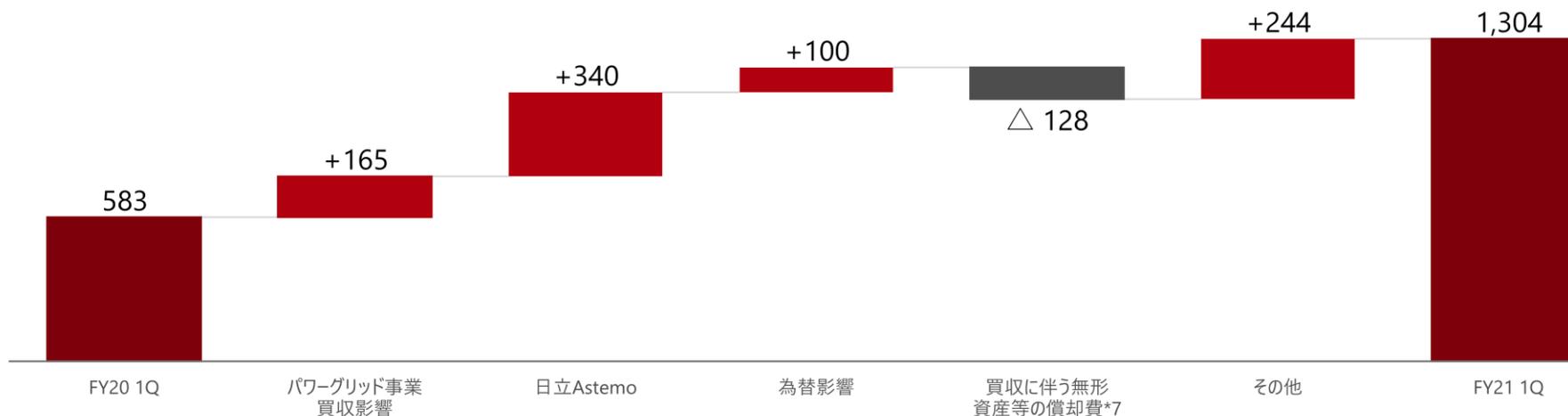
売上収益

単位：億円



調整後営業利益

単位：億円



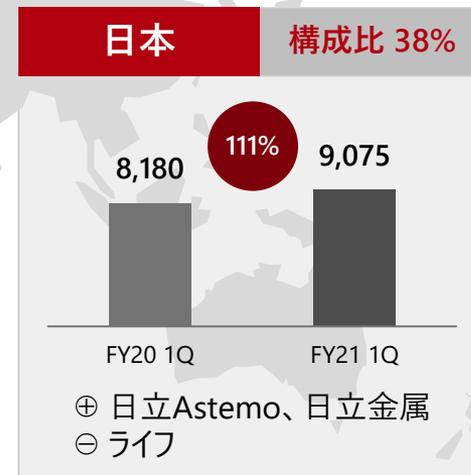
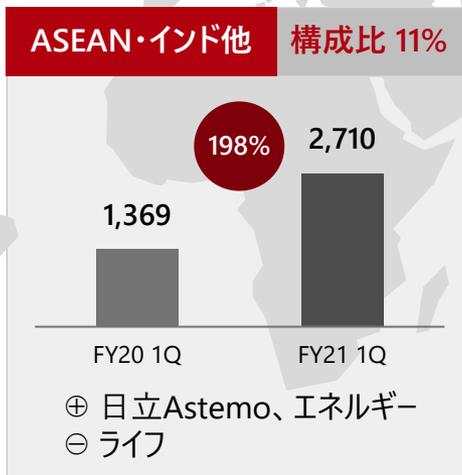
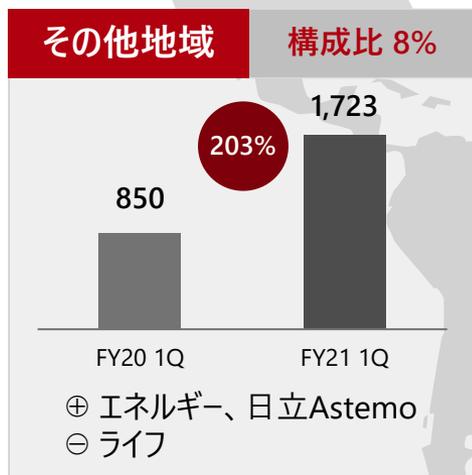
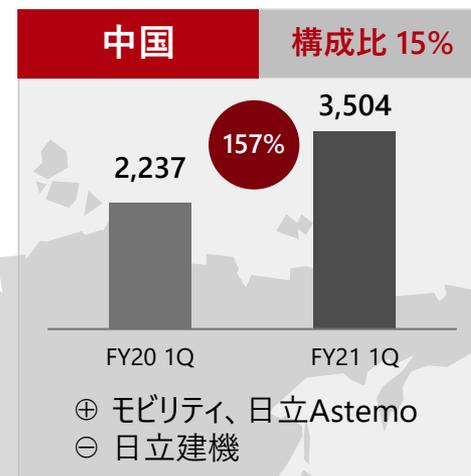
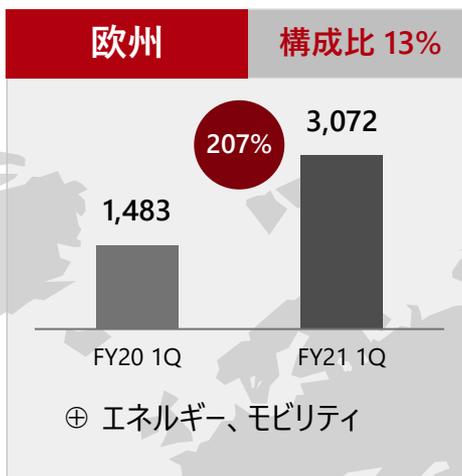
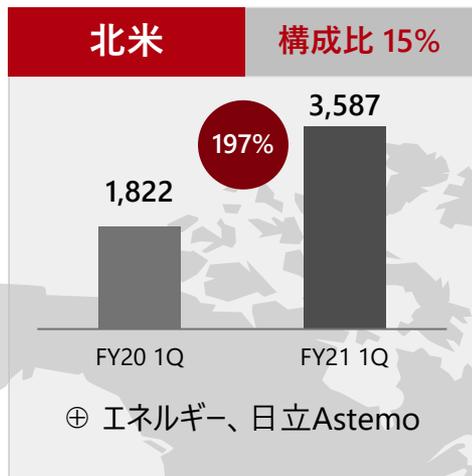
財政状態

単位：億円	2020年度末	2021年度 第1四半期末	比較増減
資産合計	118,528	118,997	+468
現金及び現金同等物	10,158	11,619	+1,461
売上債権及び契約資産	27,344	24,928	△2,416
負債合計	73,946	73,966	+20
有利子負債	23,973	25,319	+1,346
親会社株主持分	35,255	35,940	+685
非支配持分	9,327	9,091	△236
運転資金手持日数 (CCC)	81.0日	68.1日	△12.9日
親会社株主持分比率	29.7%	30.2%	+0.5ポイント
D/Eレシオ	0.54倍	0.56倍	+0.02ポイント

キャッシュ・フロー

単位：億円	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	1,537	1,370	△167
投資キャッシュ・フロー	3,574	△70	△3,645
フリー・キャッシュ・フロー	5,112	1,300	△3,812
コア・フリー・キャッシュ・フロー*8	807	395	△411

地域別売上収益



海外売上収益 **14,598** 億円

構成比 **62**%

単位：億円

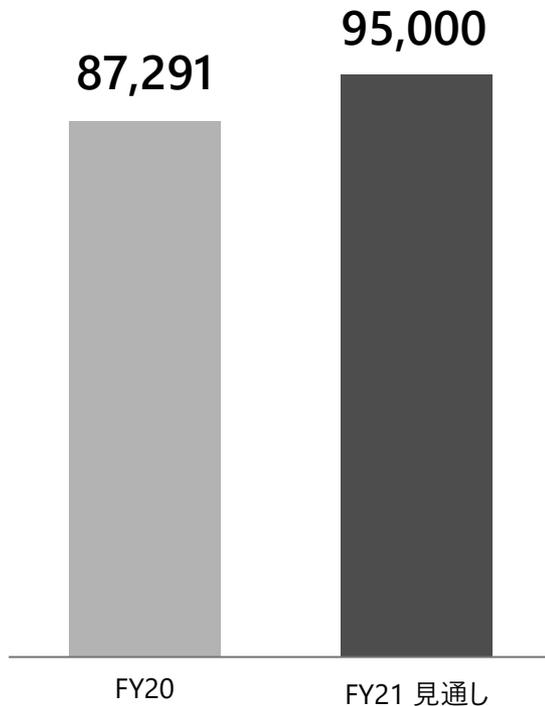
3. 2021年度 見通し

売上収益

YoY 9%増収

前回見通し比 ±0%

市況回復、パワーグリッド事業買収・日立
Astemo統合影響により増収

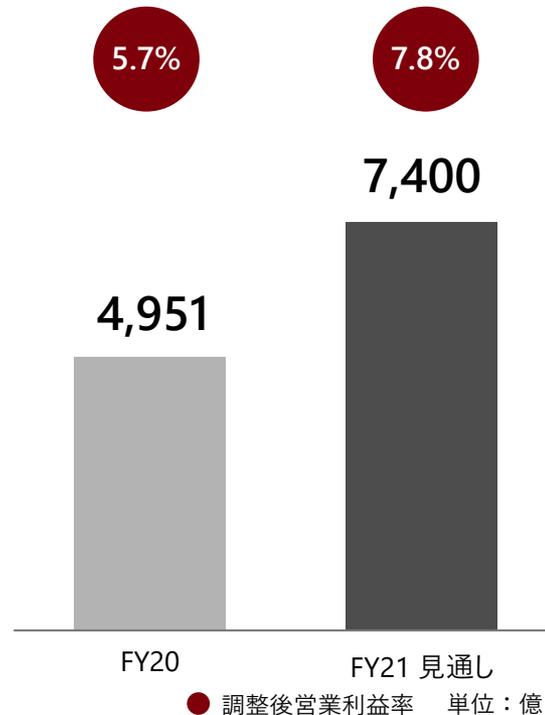


調整後営業利益

YoY +2,448億円

前回見通し比 ±0億円

売上収益の増加に伴い増益



Lumada事業売上収益

15,800億円

(YoY +42%) (前回見通し比 ±0%)

EBIT

8,200億円

(YoY △302億円) (前回見通し比 ±0億円)

当期利益 (親会社株主帰属)

5,500億円

(YoY +483億円) (前回見通し比 ±0億円)

EBITDA

13,700億円

(YoY +269億円) (前回見通し比 ±0億円)

営業キャッシュ・フロー

7,500億円

(YoY △431億円) (前回見通し比 ±0億円)

コア・フリー・キャッシュ・フロー

3,000億円

(YoY △1,198億円) (前回見通し比 ±0億円)

ROIC*9

8.3% (YoY +1.9ポイント)

(前回見通し比 ±0ポイント)

前提為替レート (FY21 2Q-4Q)

105円/ドル 125円/ユーロ

5セクター・Astemo・上場子会社別 見通し (FY21)

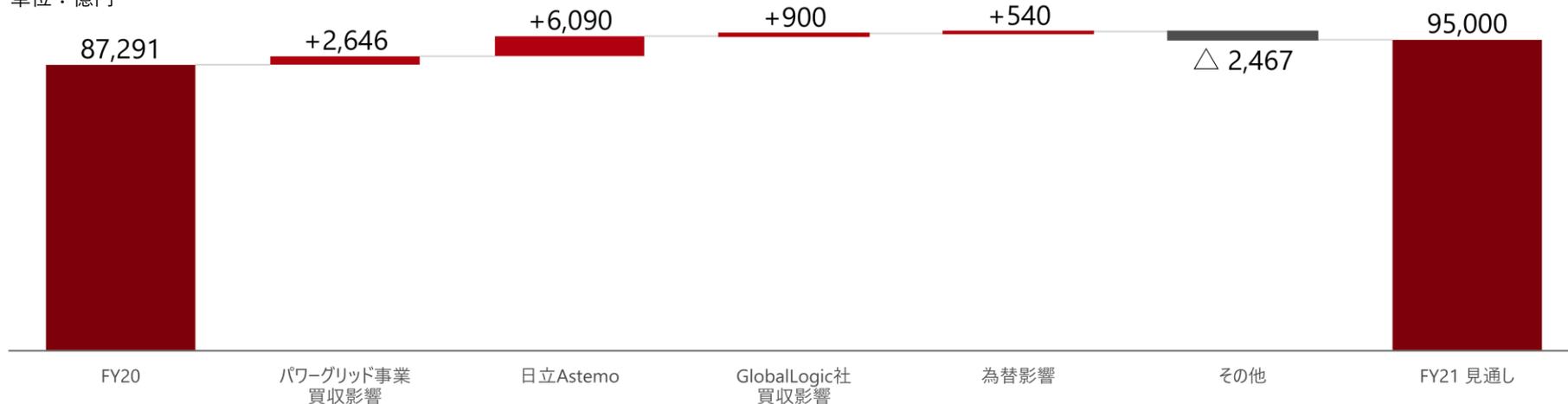
- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業買収影響により増収増益
- Astemo：市況回復、日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ]	Astemo [オートモティブシステム]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
単位：億円				
売上収益	61,700	16,000	17,300	95,000
YoY	100%	162%	110%	109%
調整後営業利益	5,480	970	950	7,400
YoY	+1,141	+622	+683	+2,448
調整後営業利益率	8.9%	6.1%	5.5%	7.8%
YoY	+1.9ポイント	+2.6ポイント	+3.8ポイント	+2.1ポイント
EBIT	6,680	760	760	8,200
YoY	△1,994	+716	+974	△302
EBIT率	10.8%	4.8%	4.4%	8.6%
YoY	△3.3ポイント	+4.4ポイント	+5.8ポイント	△1.1ポイント
当期利益(親会社株主帰属)	4,970	320	210	5,500
YoY	△518	+616	+385	+483

売上収益・調整後営業利益 増減内訳 (FY21 連結合計)

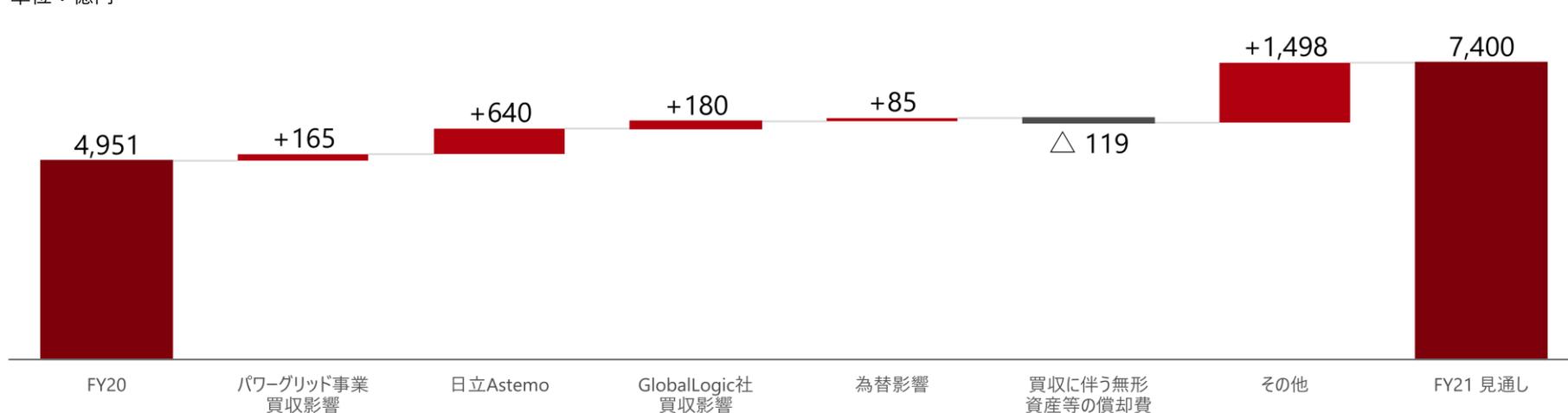
売上収益

単位：億円



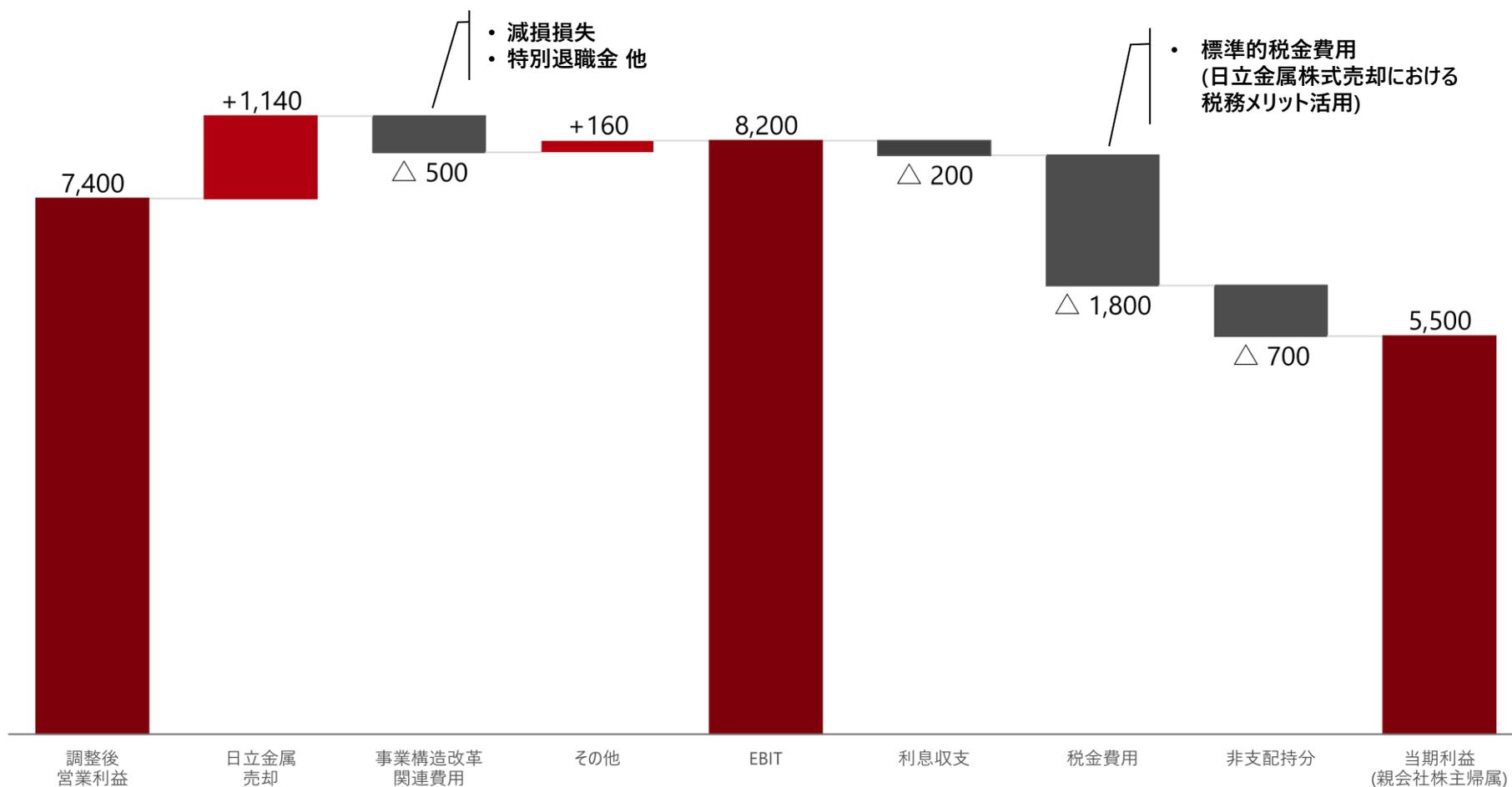
調整後営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期利益 内訳 (FY21 連結合計)

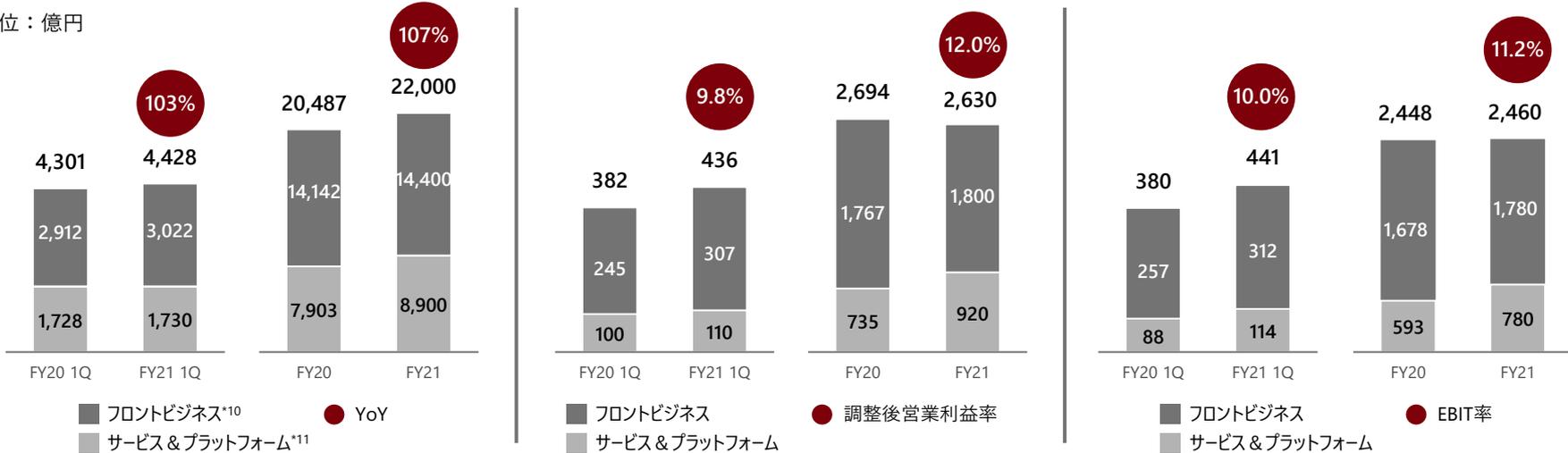
単位：億円



4. 参考資料

FY21 1Qはデジタル関連売上げけん引し増収。コスト・コントロールの徹底により、調整後営業利益は過去最高益を達成
FY21はDX需要の取り込みと、さらなる成長に向けたGlobalLogic社買収により、Lumada事業の拡大を加速

単位：億円



売上収益

調整後営業利益

EBIT

2021年度 第1四半期

4,428億円 (YoY 103%)

⊕ Lumada事業の伸長

436億円 (YoY +53億円)

⊕ 売上収益増加
⊕ コスト構造の改善による収益性確保

441億円 (YoY +60億円)

⊕ 調整後営業利益増加

2021年度 見通し (前回見通し比：売上収益が1,000億円の増加)

GlobalLogic社(スタンド・アローンベース⁽¹⁾)について、売上収益900億円・調整後営業利益180億円を織り込み⁽²⁾

22,000億円 (YoY 107%)

⊕ DX需要の取り込みとGlobalLogic社買収によるLumada事業の拡大加速

2,630億円 (YoY △64億円)

⊕ 売上収益増加
⊖ 買収に伴う無形資産等の償却費

2,460億円 (YoY +11億円)

⊖ 調整後営業利益減少
⊕ 事業構造改革関連費用の減少

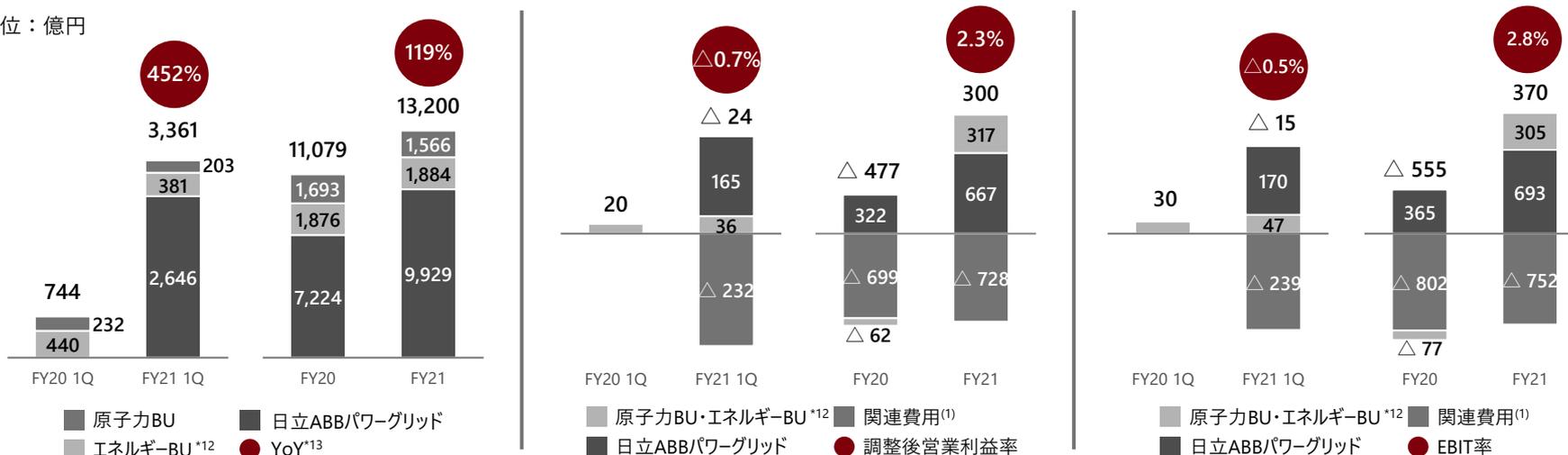
(1) スタンド・アローンベースは買収にかかる無形資産等の償却費を含みません

(2) GlobalLogic社の買収が2021年7月14日に完了し、9か月分を取り込んだ想定。GlobalLogic社(スタンド・アローンベース)はサービス&プラットフォームに含まれています。GlobalLogic社の買収に伴う無形資産等の償却費はITセグメント合計に含まれています

FY21 1Qはパワーグリッド事業買収影響により増収

FY21はパワーグリッド事業買収影響により増収、パワーグリッド事業の売上収益増加および収益性向上とエネルギー-BUにおける一部案件の対策強化の終了等により増益の見通し

単位：億円



売上収益

調整後営業利益

EBIT

2021年度 第1四半期

3,361億円 (YoY 452%)

⊕ パワーグリッド事業買収影響

△24億円 (YoY △45億円)

⊕ パワーグリッド事業買収影響
⊖ 買収に伴う無形資産等の償却費
⊖ 買収に伴う構造改革関連費用

△15億円 (YoY △45億円)

⊖ 調整後営業利益減少

2021年度 見通し (前回見通し比：調整後営業利益が50億円、EBITが20億円の減少)

13,200億円 (YoY 119%)

⊕ パワーグリッド事業買収影響

300億円 (YoY +777億円)

⊕ パワーグリッド事業の売上収益増加と収益性向上
⊕ エネルギー-BUにおける一部案件の対策強化の終了等
⊕ 買収に伴う無形資産等の償却費

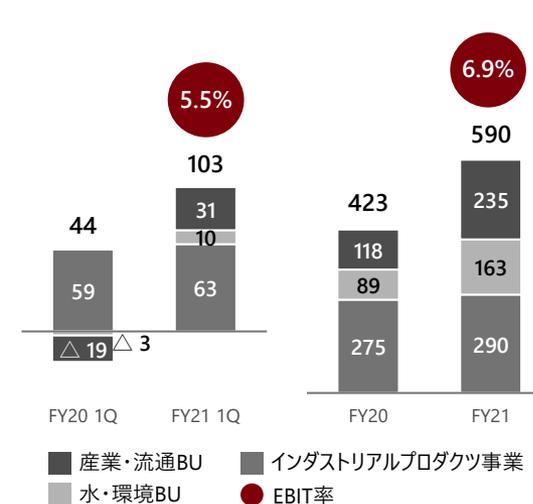
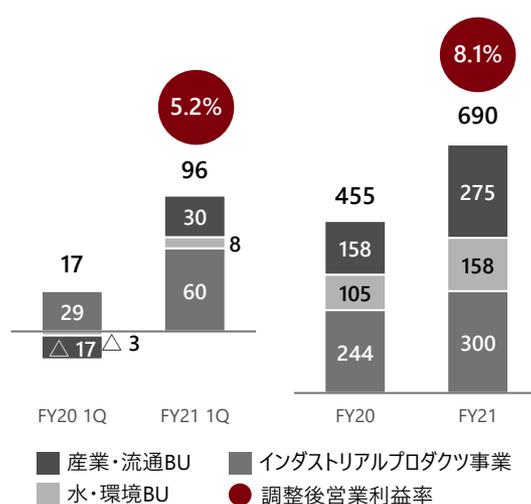
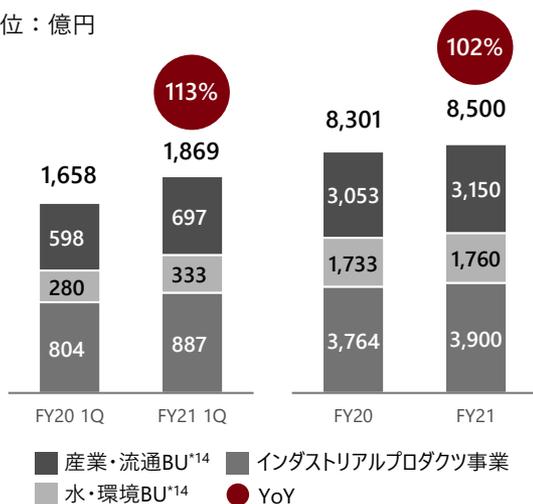
370億円 (YoY +925億円)

⊕ 調整後営業利益増加

(1) 関連費用には、日立ABBパワーグリッド設立に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

FY21 1Qは市況回復およびJRオートメーションの売上収益増加等により増収増益
 FY21はデジタルソリューション事業の拡大や、市況回復に伴う売上収益増加等により増収増益の見通し

単位：億円



売上収益

調整後営業利益

EBIT

2021年度 第1四半期

1,869億円 (YoY 113%)

- ⊕ 市況回復に伴う売上収益増加
- ⊕ JRオートメーションにおける売上収益増加

96億円 (YoY +78億円)

- ⊕ 売上収益増加および収益性改善

103億円 (YoY +59億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加

2021年度 見通し：前回見通しから変更なし

8,500億円 (YoY 102%)

- ⊕ デジタルソリューション事業拡大
- ⊕ 市況回復に伴う売上収益増加

690億円 (YoY +234億円)

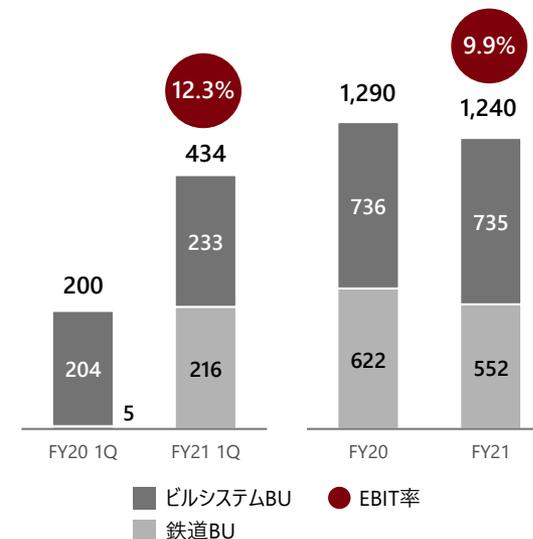
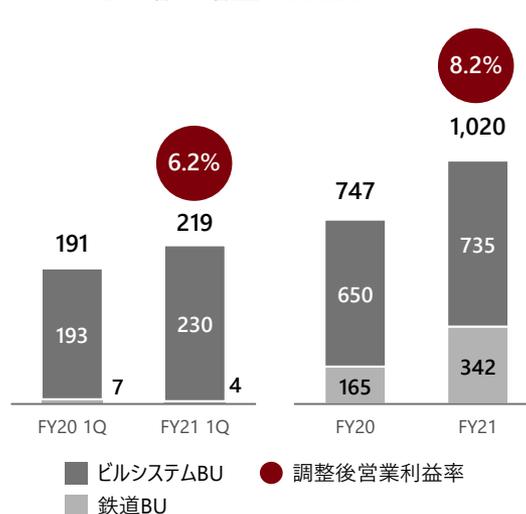
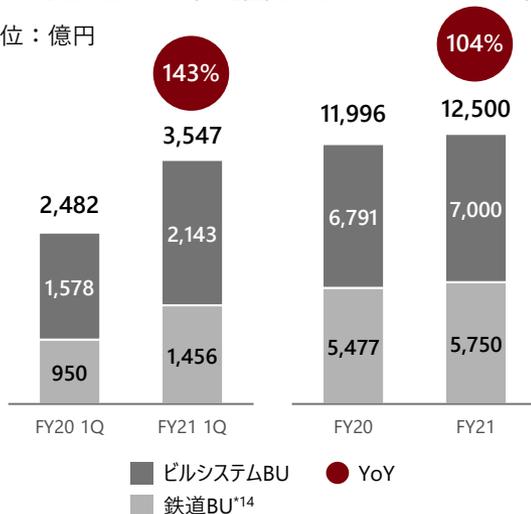
- ⊕ 売上収益増加およびデジタルソリューション事業等の収益性改善

590億円 (YoY +166億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加

FY21 1QはビルシステムBUの中国事業拡大や鉄道BUにおける市況回復により増収増益
FY21は鉄道BUの市況回復・ビルシステムBUの中国事業拡大により増収増益の見通し

単位：億円



売上収益

2021年度 第1四半期

3,547億円 (YoY 143%)

- ⊕ ビルシステムBUにおける中国事業拡大
- ⊕ 為替影響
- ⊕ 鉄道BUにおける市況回復に伴う売上収益増加

調整後営業利益

219億円 (YoY +27億円)

- ⊕ 売上収益増加

EBIT

434億円 (YoY +234億円)

- ⊕ アジリティ・トレインズ・イースト社一部株式の売却益

2021年度 見通し (前回見通し比：EBITが50億円の増加)

12,500億円 (YoY 104%)

- ⊕ ビルシステムBUにおける中国事業拡大
- ⊕ 鉄道BUにおける市況回復に伴う売上収益増加

1,020億円 (YoY +272億円)

- ⊕ 売上収益増加

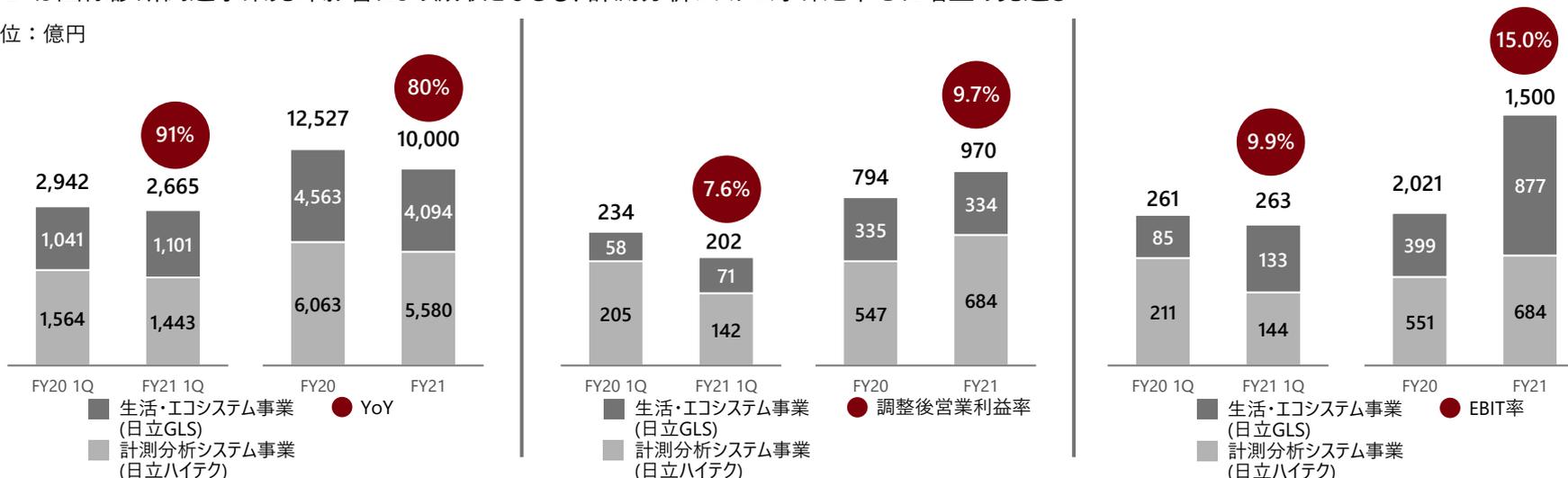
1,240億円 (YoY △50億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加
- ⊖ アジリティ・トレインズ・イースト社一部株式の売却益減少

FY21 1Qは画像診断関連事業売却影響により減収減益

FY21は画像診断関連事業売却影響により減収となるも、計測分析システム事業を中心に増益の見通し

単位：億円



売上収益

2021年度 第1四半期*5

2,665億円 (YoY 91%)

⊖ 画像診断関連事業売却影響

調整後営業利益

202億円 (YoY △32億円)

⊖ 売上収益減少

EBIT

263億円 (YoY +1億円)

⊕ 持分法利益

2021年度 見通し*5：前回見通しから変更なし

10,000億円 (YoY 80%)

- ⊖ 画像診断関連事業売却影響
- ⊖ 海外家電事業合併会社設立影響

970億円 (YoY +176億円)

- ⊕ 計測分析システム事業における売上収益増加および収益性改善
- ⊖ 売上収益減少

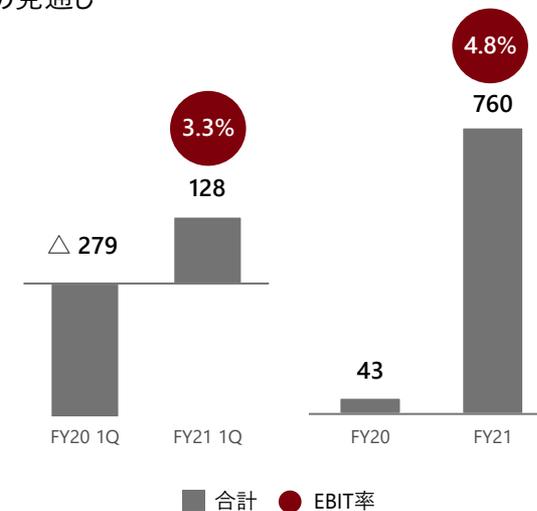
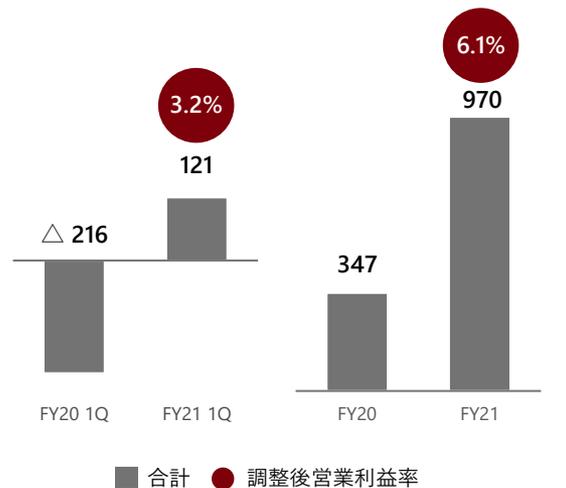
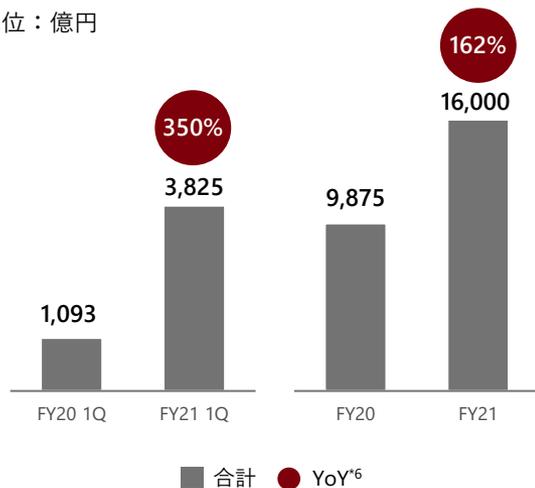
1,500億円 (YoY △521億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加
- ⊕ 海外家電事業合併会社の株式一部譲渡による売却益
- ⊖ 前期における画像診断関連事業の売却益

FY21 1Qは日立Astemo統合影響および市況回復により増収増益

FY21は日立Astemo統合影響に加え、市場シェア拡大や構造改革、オペレーションの改善により増収増益の見通し

単位：億円



売上収益

調整後営業利益

EBIT

2021年度 第1四半期^{*5}

3,825億円 (YoY 350%)

- ⊕ 日立Astemo統合影響
- ⊕ 市況回復に伴う売上収益増加

121億円 (YoY +337億円)

- ⊕ 売上収益増加

128億円 (YoY +407億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加

2021年度 見通し^{*5}：前回見通しから変更なし

16,000億円 (YoY 162%)

- ⊕ 日立Astemo統合影響
- ⊕ 市況回復に伴う売上収益増加

970億円 (YoY +622億円)

- ⊕ 売上収益増加

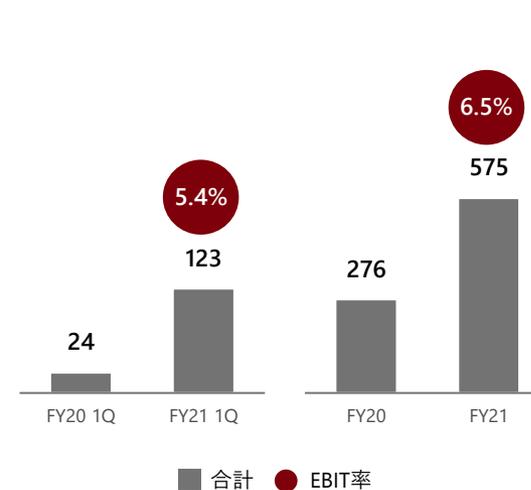
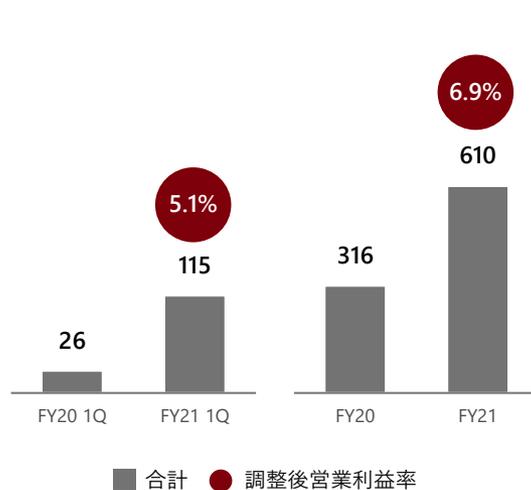
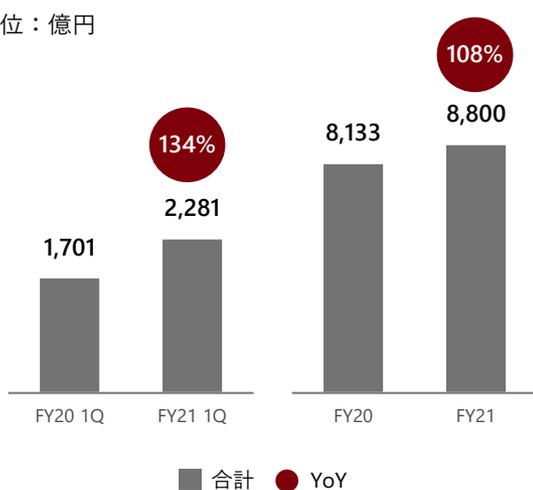
760億円 (YoY +716億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加
- ⊕ 前期における減損損失

FY21 1Qは市況回復により増収増益

FY21は中国・アフリカ・インドを除く主要地域の市況回復により増収増益の見通し

単位：億円



売上収益

調整後営業利益

EBIT

2021年度 第1四半期

2,281億円 (YoY 134%)

- ⊕ 市況回復に伴う売上収益増加
- ⊕ 為替影響

115億円 (YoY +88億円)

- ⊕ 売上収益増加

123億円 (YoY +99億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加

2021年度 見通し：前回見通しから変更なし

8,800億円 (YoY 108%)

- ⊕ 中国・アフリカ・インドを除く主要地域の市況回復に伴う売上収益増加

610億円 (YoY +293億円)

- ⊕ 売上収益増加

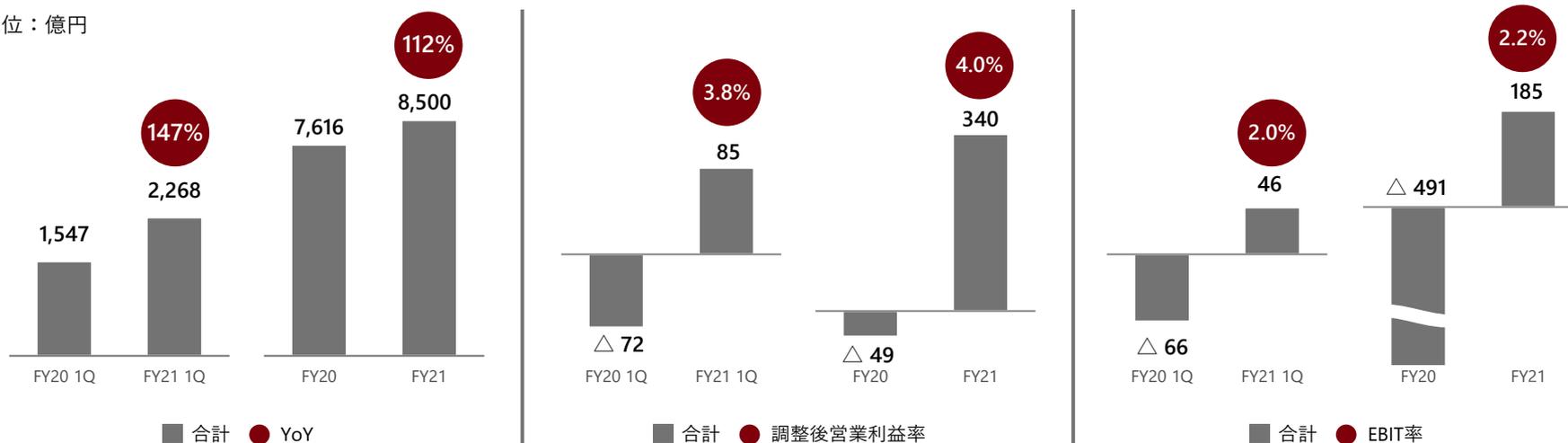
575億円 (YoY +298億円)

- ⊕ 調整後営業利益増加

FY21 1Qは市況回復により増収増益

FY21は市況回復や事業構造改革による収益性改善により増収増益の見通し

単位：億円



売上収益

調整後営業利益

EBIT

2021年度 第1四半期

2,268億円 (YoY 147%)

⊕ 自動車向け需要増加など市況回復に伴う売上収益増加

85億円 (YoY +158億円)

⊕ 売上収益増加

46億円 (YoY +113億円)

⊕ 調整後営業利益増加

2021年度 見通し：前回見通しから変更なし

8,500億円 (YoY 112%)

⊕ 市況回復に伴う売上収益増加

340億円 (YoY +389億円)

⊕ 売上収益増加

185億円 (YoY +676億円)

⊕ 調整後営業利益増加
⊕ 事業構造改革関連費用の減少

セグメント別 実績・見通し (1/2)

単位：億円		FY20 1Q	FY21 1Q	YoY	2020年度	2021年度	YoY	前回見通し比
IT	売上収益	4,301	4,428	103%	20,487	22,000	107%	105%
	調整後営業利益	382	436	+53	2,694	2,630	△64	±0
	調整後営業利益率	8.9%	9.8%	+0.9ポイント	13.2%	12.0%	△1.2ポイント	△0.5ポイント
	EBIT	380	441	+60	2,448	2,460	+11	±0
	EBITDA	656	695	+38	3,525	3,780	+254	±0
エネルギー	売上収益	744	3,361	452%	11,079	13,200	119%	100%
	調整後営業利益	20	△24	△45	△477	300	+777	△50
	調整後営業利益率	2.8%	△0.7%	△3.5ポイント	△4.3%	2.3%	+6.6ポイント	△0.4ポイント
	EBIT	30	△15	△45	△555	370	+925	△20
	EBITDA	43	231	+187	311	1,230	+918	△20
インダストリー	売上収益	1,658	1,869	113%	8,301	8,500	102%	100%
	調整後営業利益	17	96	+78	455	690	+234	±0
	調整後営業利益率	1.1%	5.2%	+4.1ポイント	5.5%	8.1%	+2.6ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	44	103	+59	423	590	+166	±0
	EBITDA	109	156	+47	669	790	+120	±0
モビリティ	売上収益	2,482	3,547	143%	11,996	12,500	104%	100%
	調整後営業利益	191	219	+27	747	1,020	+272	±0
	調整後営業利益率	7.7%	6.2%	△1.5ポイント	6.2%	8.2%	+2.0ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	200	434	+234	1,290	1,240	△50	+50
	EBITDA	276	519	+243	1,610	1,585	△25	+50
ライフ	売上収益	2,942	2,665	91%	12,527	10,000	80%	100%
	調整後営業利益	234	202	△32	794	970	+176	±0
	調整後営業利益率	8.0%	7.6%	△0.4ポイント	6.3%	9.7%	+3.4ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	261	263	+1	2,021	1,500	△521	±0
	EBITDA	347	347	±0	2,387	1,870	△517	±0

セグメント別 実績・見通し (2/2)

単位：億円		FY20 1Q	FY21 1Q	YoY	2020年度	2021年度	YoY	前回見通し比
オートモティブ システム	売上収益	1,093	3,825	350%	9,875	16,000	162%	100%
	調整後営業利益	△216	121	+337	347	970	+622	±0
	調整後営業利益率	△19.8%	3.2%	+23.0ポイント	3.5%	6.1%	+2.6ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	△279	128	+407	43	760	+716	±0
	EBITDA	△155	360	+516	650	1,740	+1,089	±0
日立建機	売上収益	1,701	2,281	134%	8,133	8,800	108%	100%
	調整後営業利益	26	115	+88	316	610	+293	±0
	調整後営業利益率	1.6%	5.1%	+3.5ポイント	3.9%	6.9%	+3.0ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	24	123	+99	276	575	+298	±0
	EBITDA	144	259	+115	789	1,145	+355	+20
日立金属	売上収益	1,547	2,268	147%	7,616	8,500	112%	100%
	調整後営業利益	△72	85	+158	△49	340	+389	±0
	調整後営業利益率	△4.7%	3.8%	+8.5ポイント	△0.7%	4.0%	+4.7ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	△66	46	+113	△491	185	+676	±0
	EBITDA	66	162	+96	12	645	+632	±0
その他	売上収益	985	1,064	108%	4,490	4,500	100%	100%
	調整後営業利益	16	51	+35	212	160	△52	±0
	調整後営業利益率	1.6%	4.8%	+3.2ポイント	4.7%	3.6%	△1.1ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	44	54	+10	253	130	△123	±0
	EBITDA	116	138	+21	592	450	△142	±0
全社及び消去	売上収益	△1,516	△1,638	-	△7,216	△9,000	-	-
	調整後営業利益	△17	1	+19	△89	△290	△200	+50
	EBIT	2,765	106	△2,658	2,792	390	△2,402	△30
合計	売上収益	15,942	23,674	148%	87,291	95,000	109%	100%
	調整後営業利益	583	1,304	+721	4,951	7,400	+2,448	±0
	調整後営業利益率	3.7%	5.5%	+1.8ポイント	5.7%	7.8%	+2.1ポイント	±0.0ポイント
	EBIT	3,404	1,686	△1,717	8,502	8,200	△302	±0
	EBITDA	4,391	3,000	△1,391	13,430	13,700	+269	±0

- *1 「5セクター」の合計は、「連結 合計」から「Astemo」と「上場子会社」の合計の数値を差し引いたもので、その他と全社及び消去の数値を含みます
- *2 調整後営業利益は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です
- *3 EBITは、継続事業税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前利益)は、Earnings before interest and taxesの略です
- *4 EBITDAは、継続事業税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息及び減価償却費(有形および無形)を加算して算出した指標です。EBITDA(受取利息、支払利息及び減価償却費調整後税引前利益)は、Earnings before interest, taxes, depreciation and amortizationの略です
- *5 2021年度より、オートモティブシステム事業(日立Astemo)の数値はオートモティブシステム(日立Astemo)セグメントに計上されています。ライフセグメントおよびオートモティブシステム(日立Astemo)セグメントの2021年度第1四半期実績と2021年度見通しの対前年度比較は、この変更を2020年度に遡及した数値と比較しています
- *6 2020年度第1四半期の実績にはケーヒン、ショーワ、日信工業の業績は含まれていません
- *7 買収に伴う無形資産等の償却費は、買収直後に被買収会社の資産・負債を時価評価し、のれんから無形資産等に振り替え、当該無形資産等を一定の耐用年数で償却した費用。支払済みの取得対価の内数であり、ノンキャッシュ費用
- *8 コア・フリー・キャッシュ・フローは、フリー・キャッシュ・フローから、M&Aや資産売却他にかかるキャッシュ・フローを除いた経常的なキャッシュ・フローです
- *9 ROIC(投下資本利益率)は、Return on invested capitalの略であり、「 $ROIC = (\text{税引後の調整後営業利益} + \text{持分法損益}) \div \text{投下資本} \times 100$ 」により算出しています。なお、税引後の調整後営業利益=調整後営業利益 \times (1 - 税金負担率)、投下資本=有利子負債 + 資本の部合計です
- *10 金融、公共、社会インフラ(電力、交通、通信等)向けシステムインテグレーション、ソフトウェア・ハードウェアの販売、保守・メンテナンス及び関連サービス、コンサルティング他
- *11 制御システム、ストレージ、サーバ、ならびに関連ソフトウェア・サービスの販売、保守・メンテナンス他
- *12 2021年度第1四半期実績と2021年度見通しの対前年度比較は、エネルギーBUにおけるパワーグリッド事業に関する組織再編を2020年度に遡及した数値と比較しています
- *13 2020年度第1四半期の実績には日立ABBパワーグリッドの業績は含まれていません
- *14 ITセグメントに計上されている制御システム事業を含んでいます

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。
その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

HITACHI
Inspire the Next 